

公務災害防止事業の推進

▶ 安全管理セミナーを実施して ◀

愛知県瀬戸市消防団長 田中浩二

1. はじめに

瀬戸市は、名古屋市の北東約20kmに位置し、周囲を標高100～300mの小高い山々に囲まれ、気候も温暖なまちです。

「せともの(瀬戸物)」という言葉が、やきものの代名詞として広く知られており、良質で豊富な陶土に恵まれたこの地で、先人たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、「せとものまち」を発展させてきました。

先人たちより引き継がれてきた「歴史」、「伝統」、「文化」、そして豊かな「自然」が、今もなお、瀬戸の暮らしに息づいています。

長年受け継がれてきたやきものづくりの卓越した技は、多種多様なやきものづくりに繋がり、陶器と磁器が共存する稀有な産地であるだけでなく、ノベルティ(置物・装飾品)、ファインセラミックスなどが生産され、今も新しいものづくりが続けられています。

2. 瀬戸市消防団の概要

当市消防団は、1団本部と14分団の266名(平成30年10月1日現在)で組織しており、うち1分団は女性分団であり、23名(平成30年10月1日現在)在籍しています。

消防団車両は、消防ポンプ自動車13台、搬送車6台、緊急自動二輪車(赤バイ)3台を配備しています。

3. 安全管理セミナー開催の経緯

近年の災害は複雑・多様化、そして大規模化

しています。それらに対応すべく、当市消防団は、年間を通して様々な研修や訓練を実施しています。年度当初には、新入団員を対象とした消防団活動について学ぶ「消防団初級研修会」、災害現場での活動を円滑に進めることを目的とした「消防団現場活動訓練」、常備消防との連携を深めるための「林野火災訓練」等があります。そして、今回、消防団員としての安全管理や健康管理に関する知識のさらなるスキルアップのため、「瀬戸市消防団研修会」において安全管理セミナーを開催いたしました。



4. 安全管理セミナーの様子

平成30年9月26日(水)に瀬戸市内にある瀬戸蔵2階つばきホールにて、安全管理セミナーを開催し、近隣市及び当市の消防団員と消防団事務担当者(総勢160名)が参加しました。講師には、S-KYT指導員の安江智氏をお招きして、テキストやパワーポイントを活用して事故発生の過程や基本的な予防策について講義していただきました。

受講した団員からは、「日頃から安全確保を第一に考え、気付くことが大切だと感じた。」、「消

防団の活動の在り方や災害時の危険性を改めて学ぶことができました。」「常日頃の予防が大事であると改めて感じました。」という意見が寄せられました。



5. 今後の取組について

消防団は、全国的に団員数の減少、高齢化など



様々な問題に直面しており、当市も同様の状況です。こうした中で、世間の消防団に対する期待は高く、その期待に応えるためにも消防団員の確保、資器材の充実も図らなければなりません。

当市では、毎年開催している「消防団観閲式」において消防団を強くPRしており、また「瀬戸市消防団大学生等活動認証制度」や「ガンバレ消防団応援事業所制度」などを導入し、消防団員の入団促進や福利厚生の実施を図っております。

今後も、基金の企画・斡旋する研修や各種訓練の参加等、様々な機会を通じて、団員の知識、技術の向上を図り、市民から信頼される消防団を目指して邁進していきたいと思っておりますので、御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

